

RESAS

を分析してみよう

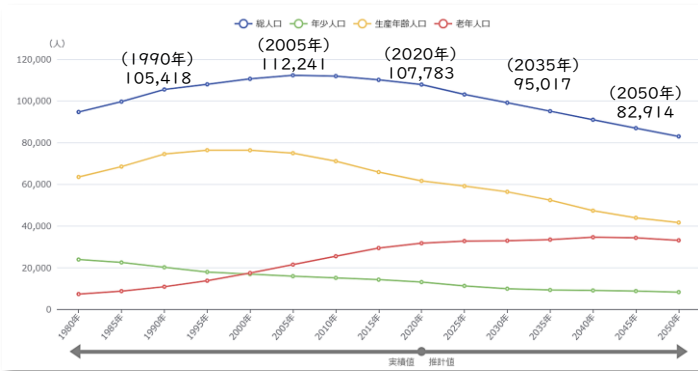
静岡県
三島市

RESAS (地域経済分析システム) は、地域経済に関する様々なデータ (産業の強み、人の流れ、人口動態など) をグラフで分かりやすく「見える化 (可視化)」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

人口

<https://resas.go.jp>

RESAS



年齢別人口推移

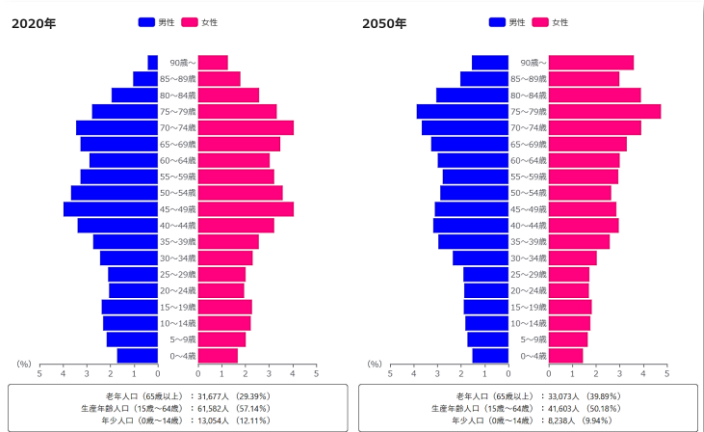
2020年の人口は総人口107,783人。15年前(2005年)の112,241人と比較して減少しており、今後も減少傾向が続く見込みである。年齢別に将来の傾向をみると、①年少人口や生産年齢人口は減少傾向、②老年人口は増加～横ばい傾向にある。よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。

※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上をさす。

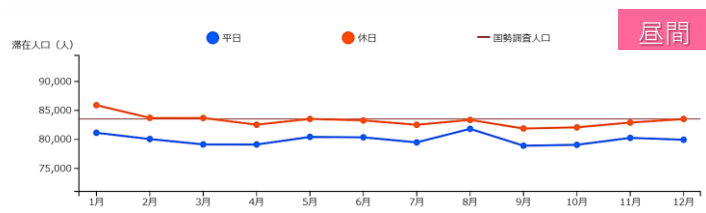
*人口マップ→人口構成→人口推移

人口ピラミッド

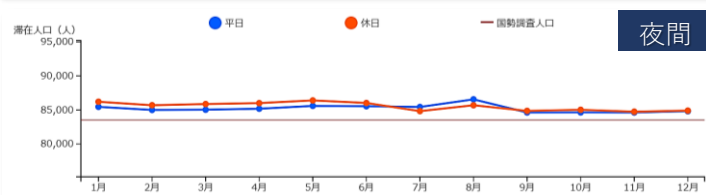
現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2050年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の29.39%から2050年には39.89%まで上昇。一方、生産年齢人口は2020年の57.14%から50.18%まで低下する見込みとなっている。消費の縮小、労働人口の低下が予測される。



*人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



昼間



夜間

滞在人口

(2022年、上：昼間、下：夜間)

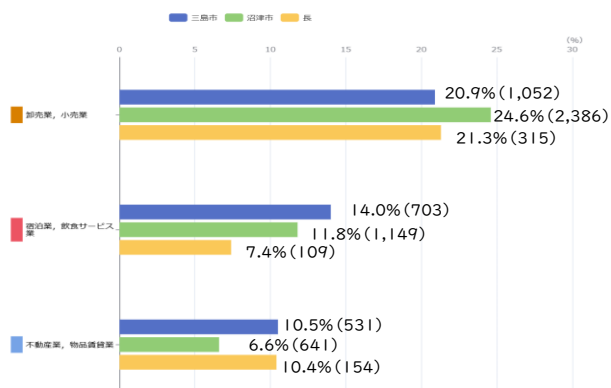
昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフである。平日の人口をみると、昼間人口が夜間人口に比べ少ないことから、他の市町村への通勤・通学者数 (流出人口) が他の市町村からの通勤・通学者数 (流入人口) より多いことがわかる。

※昼間は14時、夜間は20時のデータ

*まちづくりマップ→滞在人口率

産業構造

事業所数(事業所単位):5,037事業所

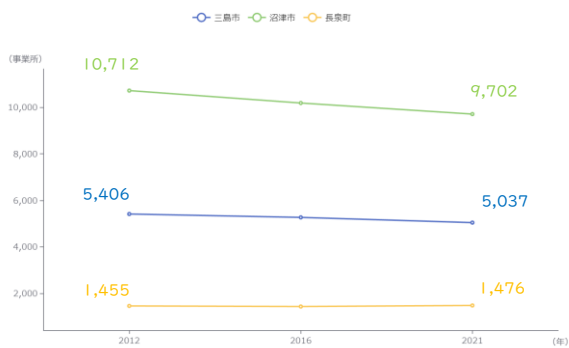


*産業構造マップ→全産業→全産業の構造

事業所数(事業所単位) 大分類 (2021年)

業種ごとの事業所数を示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の1,052事業所で、全体の20.9%を占めている。その後「宿泊業、飲食サービス業」の703事業所14.0%、「不動産、物品賃貸業」の531事業所10.5%が続く。

事業所数(事業所単位)
すべての大分類

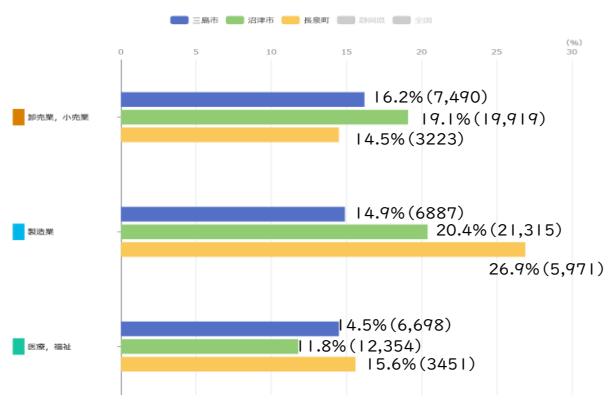


*産業構造マップ→全産業→事業所数

事業所数の推移

事業所数の推移をみる。2021年は5,037事業所。9年前の2012年は5,406事業所だったので、比較すると6.8%減少している。

従業者数(事業所単位):46,279人

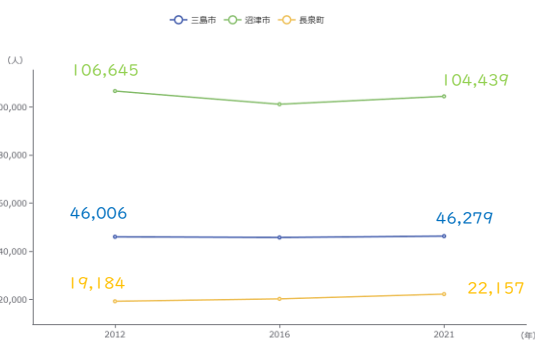


*産業構造マップ→全産業→全産業の構造

従業者数(2021年)

業種ごとの従業者数を示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の7,490人で、全体の16.2%を占めている。その後「製造業」の6,887人14.9%、「医療、福祉」の6,698人14.5%が続く。

従業者数(事業所単位)
すべての大分類



*産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

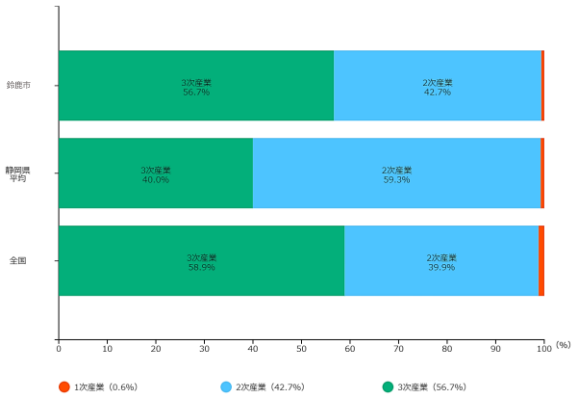
従業者数の推移

従業者数の推移を見る。2021年は46,279人、5年前の2016年と比較すると1.2%増加している。

地域内産業の構成割合

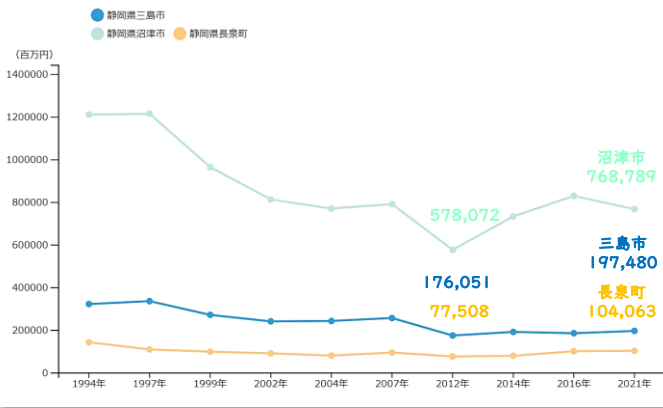
三島市の産業の構成割合を全国および静岡県と比較したグラフである。2次産業の割合が42.7%であり、全国の39.9%と比べて高く、3次産業の割合は、56.7%と全国の58.9%に比べて低い。また三島市は、第3次産業が最も高く、ついで第2次産業が続いており、この傾向は静岡県とは大きく異なる。

- *1次産業・・・農業、林業、漁業など
- *2次産業・・・製造業、建設業、工業など
- *3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、外食産業・情報通信産業など



*地域経済循環マップ→生産分析

小売業・卸売業



*産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

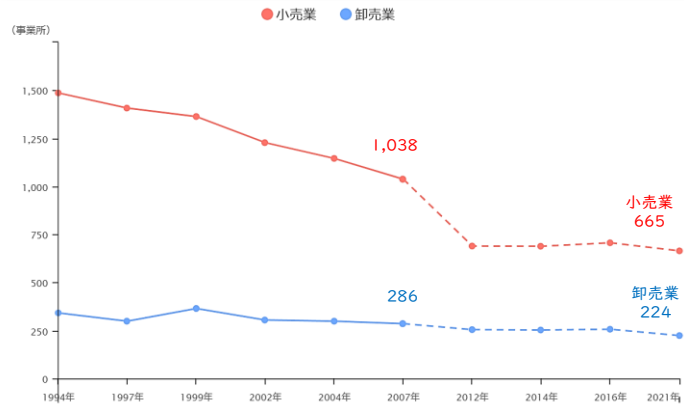
事業所数(小売業・卸売業)の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、小売業665事業所、卸売業224事業所である。2007年と比較すると、小売業は35.98%減、卸売業は21.67%減となっている。

*グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。

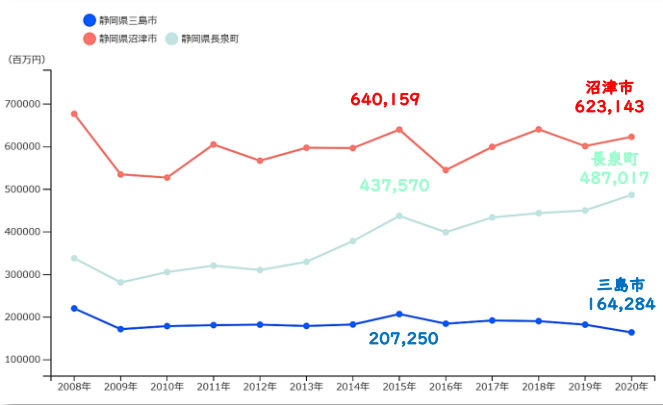
年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。2021年の販売額は197,480百万円である。9年前の2012年と比較すると176,051百万円なので、12.2%増である。



*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

製造業



*産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

製造品出荷額等の推移

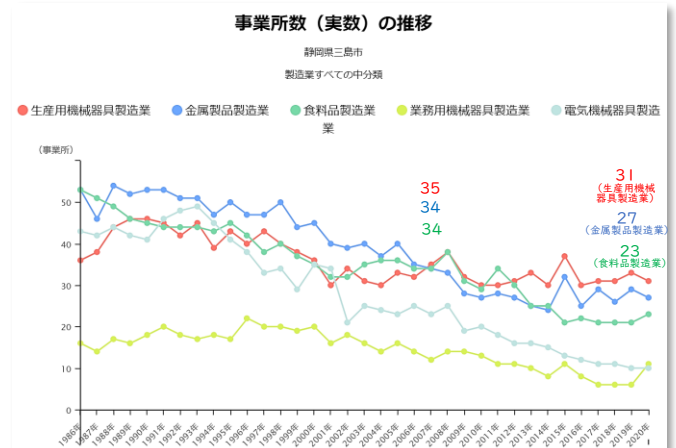
製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。2020年製造品出荷額等は、164,284百万円である。2015年と比較すると207,250百万円なので、20.7%減である。

事業所数(主要製造業)の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。

①生産用機械器具製造業、②金属製品製造業③食料品製造業が多い。

2007年と比べると、①生産用機械器具製造業、②金属製品製造業③食料品製造業、全て減少している。



*産業構造マップ→製造業→製造業の構造

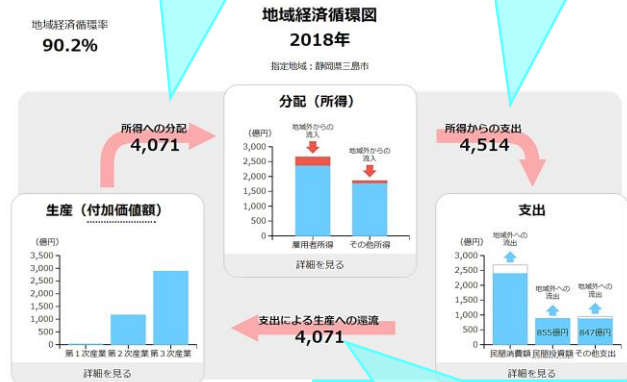
地域経済循環

地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

①三島市の企業は合計4,071億円の付加価値を生み出している。

②付加価値のうち、支出に回されるのは、4,514億円。市外からの流入があるので、付加価値額を上回っている。



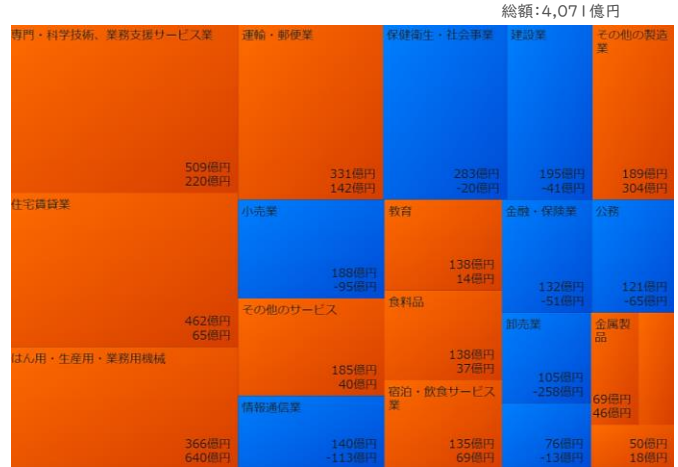
*地域経済循環マップ→地域経済循環図

③市内で支出に使われた金額は4,071億円。市外への流出があるため4,514億円より少ない。

生産分析 (2018年)

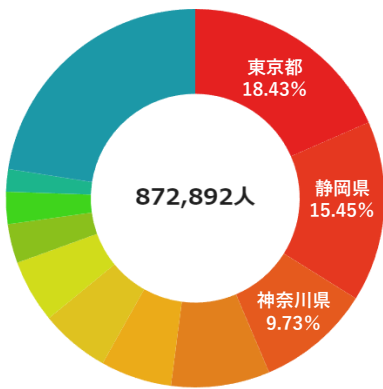
左図の「生産(付加価値額)」の内訳を面の大き気で示したグラフである。付加価値額が高いのは「専門・科学技術、業務支援サービス業」「住宅賃貸業」「はん用・生産用・業務用機械」である。

なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業(赤色)と地域外から必要としているものを調達している産業(青色)を表している。

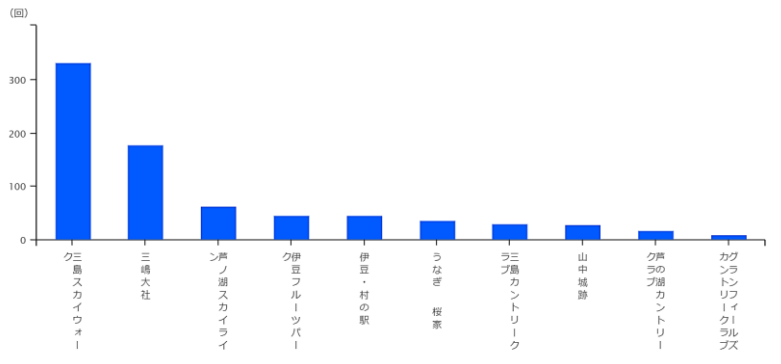


*地域経済循環マップ→生産分析

観光



*観光マップ→From-to分析(宿泊者)



*観光マップ→目的地分析

From-to分析 (宿泊者) (2022年)

居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合を示したグラフである。東京都が18.43%ともっとも多く、静岡県15.45%、神奈川県9.73%が続く。

目的地検索ランキング (2023年3月 休日)

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「三島スカイウォーク」「三島大社」「芦ノ湖スカイライン」の検索回数が多い。



発行: 三島商工会議所
〒411-8644 静岡県三島市一番町2-29
TEL: 055-975-4441 FAX: 055-972-2010
URL: <https://www.mishima-cci.or.jp/>

